

平成30年度 第2回岬町行財政改革懇談会議事録

日 時	平成30年12月25日(火) 10:00~10:50
場 所	岬町役場 住民活動センター
出席者	(敬称略) (会 長) 足立 基浩 (和歌山大学経済学部 副学長/教授) (副会長) 宮川 益和 (商工関係) 和中 信隆 (税理士) 中小路 美佐子 (女性団体関係) 永田 歌代 (人権団体関係) 辻口 幸人 (教育団体関係) 下出 忠 (農業・水産業団体関係) 辻 昭江 (高齢者団体関係) 松岡 信男 (公募委員)

1. 開 会

(事務局) 資料の確認(次第、懇談会資料、平成30年度第1回議事録)

2. 会長挨拶

3. 議事案件

(会 長) それでは、お手元の次第により議事を進めさせていただきます。

その前に、本日の会議に傍聴の申出はございますでしょうか。

(事務局) 本日、傍聴の申出はありませんでした。

(会 長) では、会議を進めてまいります。

本日の案件ですが、2件ございます。1つ目の案件「平成29年度 改革項目別決算効果額について」と2つ目の案件「今後の財政収支見込について」の2件でございますが、案件ごとに区切りながら事務局より説明を受け、その後、質疑等を行うというような形でよろしいでしょうか。

(異議なし)

(会 長) それでは、1つ目の案件「平成29年度 改革項目別決算効果額について」事務局より説明をお願いします。

(事務局) それでは説明をさせていただきます。平成30年4月に第1回懇談会を開催させていただきました。その際は平成28年度改革目別決算効果額、平成29年度改革項目別決算見込額、平成30年度改革項目別予算反映効果額についてご報告し、ご意見をいただいたところでございます。今回は第2回目ということで、会長からご説明いただいたとおり、案件の1つ目、平成29年度 改革項目別決算効果額につきまして資料に基きご説明させていただきます。資料番号1番をご覧ください。

「行財政改革の効果額について」説明

(会 長) ただいま事務局の説明が終わりました。

一つ目の案件「平成 29 年度 改革項目別決算効果額について」何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

(委 員) よろしいでしょうか。まず、1 頁目の O A 経費の再点検のところで、5 年間計画の効果額が 1 億 1 千 9 百万円ほどと書かれております。そして、目標額が 5 7 0 万円。5 年間で単純に計算しても 1 億 1 千 9 百万円の金額に到達するのかなと疑問に思いました。あくまで目標ですので、帳尻を合わせることはできるかも知れませんが、この数字は何かの根拠の元で出しているものであると私は思います。ですが、その割には目標効果額の 5 7 0 万円は計画当初から出した数字なのかなと思うのですが、再リースするという形を敷く以上、機械はだんだん古くなっていきますし、windows もバージョンアップしていきますので、それを対応する事を考えると、とても目標効果額にとどかないのではないかと思います。2 点目はふるさと納税を項目に入れているという点で、数字の信憑性がなくなってしまうので、行財政改革の中では、ふるさと納税はふさわしくないのではないかと思います。でなければ、数字だけ見ると、もうなにもしなくても大丈夫のように見えます。収入は入ってきているので、そのように思われますけれども、ふるさと納税は別枠という形で考えていかなければいけないと思います。ましてや、これから金額も少なくなっていく可能性もありますので、計画を変更しなければならないということになりうるので、ふるさと納税は別枠にするべきではないかと思います。ふるさと納税は収入として入ってきますので、これはこれとして、良いものであると思いますが、改革という枠組みで考えると、ポンッと収入が入ってきたと間違えてしまうのではないかと考えます。

(会 長) ありがとうございます。2 点ほどご指摘いただきましたがいかがでしょうか。

(事務局) 先にふるさと納税についてお答えいたします。ふるさと納税につきましては高額な寄付金をいただいておりますので、それを効果額として計上するのはいかなるものかなというご指摘でありました。当初、ふるさと納税が全国的に展開されているときには、町としましても、他市町へふるさと納税をされて、町税が流出してしまうことが懸念されました。その際に返礼品等を工夫した結果、こうなっているという現状でございます。ちなみに平成 28 年度ですと、2 6 4 名、8 7 0 万円が他市町へ流出しております。2 9 年度ですと 3 3 5 名、1 1 5 0 万円流出しているところでございます。計画の当初では、ふるさと納税の寄附額このように上っていくとは見込んでいなかったとは思いますが、ただ、他市町への流れる税収を少しでも食い止めていくということも踏まえまして、返礼品等を検討し、少しでも町に入ってくるようにと考えております。委員様が仰るように、現状の寄附額は想定外でありますので、行財政改革がふるさと納税だけというようなことにならないように、今後の対策を検討したいと考えております。

O A につきましては、更新は出来る限り、機器の支障が出ない限界まで引き伸ばしていきたいというのが行革の立場でございます。金額との乖離というものがありますが、当初はそのあたりの伸びを見込んだ上で計画していましたので、機器の関係で更新していったことによって変わっていくということも考えられております。しかし、目標効果額を

定めるにあたり、積上げた結果、現状の目標効果額が出ておりますが、経過の中で少しずつ想定外の制度改正に伴う更新などによりずれていくということも考えられますので、その点により目標数値と乖離していくこともありえると考えているところであります。

(委員) 5年計画の1～2年の段階でこれだけしか効果が出ていないといのは、来年再来年によって大きく効果額がでるといことは考えにくいです。目標額は積上げにより設定しているとおっしゃられていましたが、その積上げ方が甘いのではないのでしょうか。あと、ふるさと納税については、確かに税金が他市町村に流れるということはわかります。私も精力的に取り組んでいくべきだとは思いますが、やはり、この行財政改革としての取組に入れるというのは意味合いが違うのではないのでしょうか。他市町村が皆やっている事ですから、岬町が特徴的になにかしたという訳ではないので、行財政改革とは違うと思います。単純に収入だけ見ると余裕があるように錯覚してしまいますので、改革項目として入れない方が町民方にも正確な数字を提示することが出来ると思います。ふるさと納税に関しては別枠として提示していくほうが良いでしょう。やはり、ふるさと納税は行財政改革としてはふさわしくないと私個人は思います。

(会長) どうもありがとうございました。その他ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。ご意見いただいたように、ふるさと納税は、例えば和歌山県湯浅町では50億円とすごいことになっております。確かに委員がおっしゃるような一時的な所得になる可能性がございます。ただ一方で、書類上ではどうしても入れざるをえないので、入れていただいて構わないと思うのですが、ただ、私も二つのシミュレーションをやっておかなければならないと、そういったように考えます。それでは、続きまして、2つ目の案件「今後の財政収支見込について」事務局より説明をお願いします。

(事務局) 「今後の財政収支見込について」説明

(会長) ご説明ありがとうございました。2つ目の案件「今後の財政収支見込について」何かご意見、ご質問等ございますでしょうか

(委員) 資料番号3の寄附金について、9億9千8百万と書いてありますけれど、寄附金にはふるさと納税の収入が入っていないという形で記載されておりますけれども、平成29年度においては、本当にふるさと納税の額が入っていないということでよろしいでしょうか。

(事務局) 平成29年度につきましては、決算ベースで算出しておりますので、ふるさと納税額は入っております。

(委員) 記載の仕方の問題なのですが、資料番号2番には、寄附金は「H29決算額からふるさと納税収入を除いて算出した。」と書いてありますので気になりました。文章的には決算額からふるさと納税の額を除いて算出していると読めます。

(事務局) 30年以降の前提条件につきましては、平成29年度の決算額を元に条件をつけて伸ばしていきますが、寄附金につきましては、ふるさと納税は想定しておりません。資料番号2番につきましては、今後の財政収支見込ですので、30年度以降の5年間を条件付けております。ですので、平成29年度は決算ベースですのでふるさと納税は入れておりますが、30年度以降については、29年度をベースにふるさと納税額は除いております、とこういう意味でございます。紛らわしい表現になってしまいました。

(委員) わかりにくいですので、30年以降の見込額から除いていますなど書いてもらう方が、良いと思います。

(会長) ありがとうございます。30年以降は除いていますなど一言添えていただいたならわかりやすくなると思います。その他なにかございますでしょうか。それでは、特に無いようでしたら報告に移りたいと思いますがよろしいでしょうか。

(異議なし)

4. 報告事項 平成30年度 第1回岬町行財政改革懇談会議事録の確認について

(会長) それでは報告に移りたいと思います。報告事項平成29年度 第1回岬町行財政改革懇談会議事録の確認について、事務局より説明をお願い致します。

(事務局) 報告事項について説明をさせていただきます。平成30年度第1回行財政改革懇談会の議事録について、本年度4月に開催しました「平成30年度第1回懇談会」の内容を要点筆記方式により議事録としてまとめさせていただいております。内容等については、事前に配付させていただいており、ご確認いただいているものと存じます。また、本会議録については、岬町ホームページや情報公開コーナーに設置し、公開したいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。以上です。

(会長) ただ今、事務局より説明のありました「平成30年度 第1回岬町行財政改革懇談会議事録の確認について」ご意見等はございますでしょうか。

(異議なし)

5. 次回懇談会日程について

(会長) それでは、続きまして、次回の懇談会の日程について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 次回懇談会の日程について説明をさせていただきます。次回の懇談会については、来年の3月から4月頃の開催を予定しております。詳しい日程につきましては、再度調整をさせていただいた上で、改めて通知させていただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

6. 閉 会

(会長) 本日の案件についてすべて終了いたしましたので、これもちまして、平成30年度 第2回岬町行財政改革懇談会を閉会いたします。本日は長時間にわたり、慎重にご審議いただき、誠にありがとうございました。